

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

保育所等訪問支援事業所 しらかば

公表日

令和7年 3月 28日

利用児童数

2名

令和7年 3月 31日

回収数 2

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2				
5	事業所からの支援に満足していますか。	2				

## その他のご意見

・本校（M高校）の1年生徒（A）に対して、定期的にかウンセリングを行って頂くと共に、支援会議において助言を頂いた。お陰様でAは、入学時よりもクラス内でのコミュニケーションが積極的になり、学校生活が充実してきている。

（高校 教師）

・受験に向けてアドバイスやサポートをして頂きました。生徒B（中学3年生）本人も自信を持って面接等に臨む事が出来、とても有難かったです。

（中学校 教師）

（※ ご意見をふまえた弊社の対応については、次項に記載）

## ご意見を踏まえた対応

- ・高校よりのご意見、ありがとうございました。Aさんは、当初、対人関係に大きな苦手意識を持っておりました。支援スタッフとの一対一の関係を丁寧に作り上げていく所から始まりました。が、そこを構築できると、人間関係が、次第に広がっていきました。  
Aさんにとって、高校の生活 — 学校生活そのものが、初めての体験ばかりでしたが、そこを、支援会議などで共通理解しながら、学校も、適応までの時間を、Aさんを真ん中にした、きめ細やかな支援をしていただきました。  
感謝です。今後、更に生活体験拡大に伴って生じるであろう課題に対しても、ご家族、学校と、暖かい連携の中で向き合って参りたいと思います。  
(スタッフ①)
- ・ご意見誠にありがとうございました。Aさんが、少しずつ、家族以外の方と関わる事が出来るようになり、登校を再開出来た際には、私どもも、大変嬉しかったです。学校関係者の皆様のご理解と、温かな御協力のお陰です。今後は、Aさんのご様子に注力しつつ、様々な体験と共に、ご本人が安心して学校生活を送れるよう、お手伝いさせていただきます。(スタッフ②)
- ・中学校からのご意見、ありがとうございました。進路へのイメージが、ほとんど無かった状態から始まり、動機づけを経て、合格まで至る事が出来ました。  
そのプロセスを通して、自己理解も進んで来たように、感じております。  
これからBさんは、また新たなスタートを切ります。高校生活への適応に向けて、関係者のより良い支援の輪を作っていけるよう、お手伝いをさせていただきます。(スタッフ①)
- ・ご意見誠にありがとうございました。Bさんは、登校再開と同時に、修学旅行、高校受験と、大きなイベントにチャレンジ出来、本当によく頑張りました。学校関係者の方々皆様のご理解と、温かな御協力のお陰です。Bさんは、この春新たなスタートを切りますが、安心して学校生活を送れるよう、お手伝いさせていただきます。(スタッフ②)